



環境報告書 2020

(2020年4月～2021年3月)

DAIHO INDUSTRIAL CO.,Ltd. Environmental Report



大宝工業株式会社

CONTENTS

環境マネジメント

経営基本方針・環境方針	2
環境組織	3
環境負荷の全体像	4
環境活動 計画・実績	5
環境関連法規制の遵守	5
改善取組みの事例紹介	6

製品への取組み

紙成形品 [PIM パルプ射出成形品]	7
再生樹脂 [エコ リサイクルシステム]	7

社会的な取組み

社会、地域への貢献活動	7
-------------	---

ホームページでの開示情報

環境への取組み

<http://www.daiho-hq.com/eco/eco.htm>

企業情報

<http://www.daiho-hq.com/profile/profile.htm>

発行

2021年7月（次回発行は2022年7月予定）

環境報告書に関するお問合せ先

大宝工業株式会社 環境事務局

〒570-0003 大阪府守口市大日町1-3-7

TEL 06-6908-8126

FAX 06-6909-5139

発行責任者：高桑恒治

環境レポートの範囲

●対象範囲：国内事業場

大宝工業（株） 本社
金型事業部関東工場
金型事業部関西工場
関東カンパニー足利工場
関東カンパニー大田原工場
関西カンパニー湖南工場
関西カンパニー河野工場
関西カンパニー鳥取工場
関西カンパニー名古屋営業所
九州カンパニー福岡工場
九州カンパニー大牟田工場
タイロン（株） 枚方工場 那須工場
大牟田工場 仙台工場
大宝浜松（株）
（株）大宝総合保険

●対象期間：2020年度（2020年4月から2021年3月）

2019年度以前の環境取組みも一部紹介しています。

経営基本方針・環境方針

大宝グループ 経営基本方針

1. 限りなき創造性を発揮して、新しい技術、新しい商品を開発し、社会の繁栄に役立つ仕事をしよう
2. 社会からお預かりしている、数多くの貴重な経営資源を大切に扱い、すすんで活用しよう
3. かけがえのない地球環境を、将来の世代に遺し、心豊かな人間集団づくりを通じて、社会生活の改善向上に役立つ

大宝グループ 環境方針

スローガン 「私たちは環境に思いやる人づくりをめざします」

1. ISO14001：2015の要求事項に沿った環境マネジメントシステムを構築し推進します。
2. 大宝グループとして継続的に環境活動の成果を向上させるために、マネジメントシステムの継続的な改善と環境保護（汚染予防・地球温暖化防止）に取り組めます。
3. 事業所内・外の良好な環境維持のため環境負荷改善に取り組めます。
 - 環境に有益な事業活動（リサイクルの推進等）
 - エネルギーの効率的な使用
 - 資源の効率的な使用
 - 廃棄物の削減
4. 環境法規制等、組織の順守義務を遵守します。
5. 環境目的を達成する積極的な人づくりを推進します。

大宝環境憲章

大量生産、大量消費、大量廃棄型の産業構造や都市型の生活様式によって、地球温暖化、森林破壊、産業廃棄物処理、ダイオキシンや環境ホルモンなど有害化学物質の影響をうけて、環境汚染が地球規模で進行しつつあります。

大宝グループでも、プラスチック成形あるいは2次加工の過程で知らず知らずのうちに、さまざまな形で環境に負担をかけています。

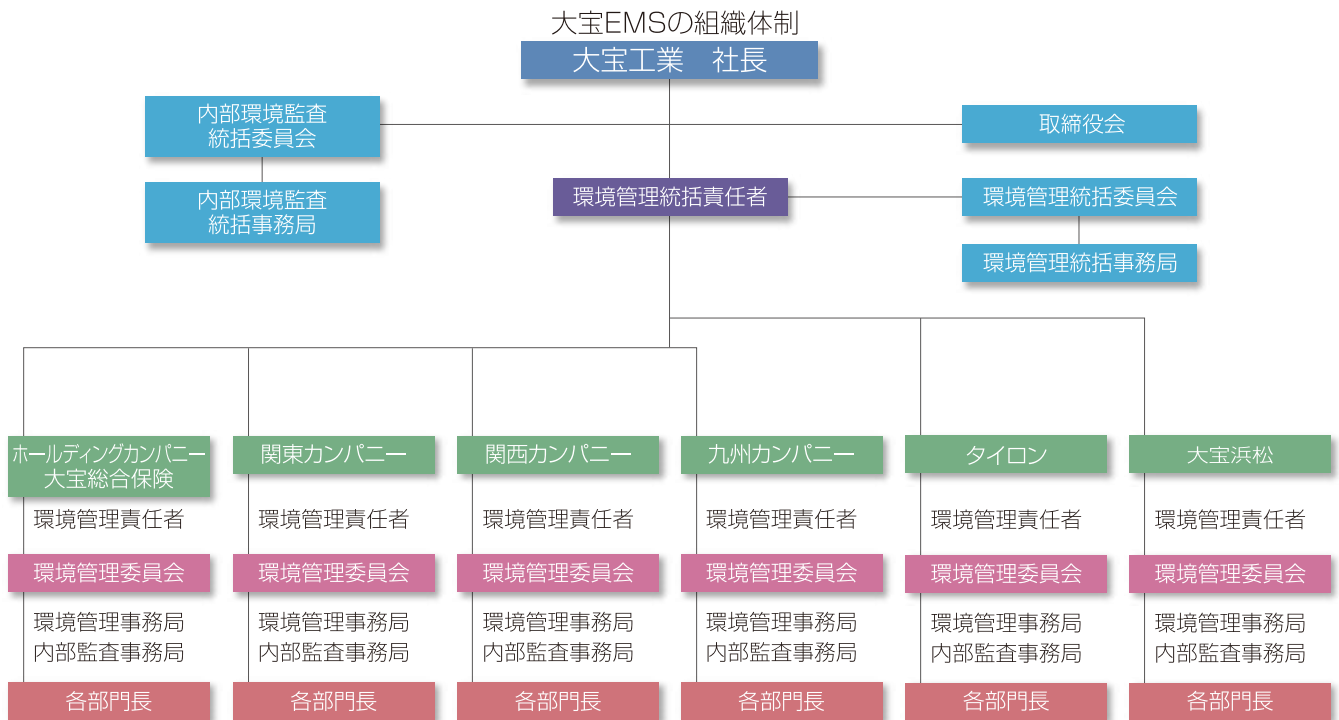
私たち社員とその家族は、かけがえのない地球を守り、恵み豊かな環境を子孫に引継ぎ、より心安らかな生活を過ごせるように、すべての社員が法規制を守り、さらに自主活動によって、環境への負荷が少ない循環・共生を基調とした事業を構築していかなくてはなりません。

このような認識に立ち、経営基本方針に「かけがえのない地球環境を将来の世代に遺そう」の言葉を付け加えました。そして、環境にやさしいプラスチック成形・加工事業に向けた全社員の自主的な取り組みを促進するため、主要事業所において環境管理システムの構築をすすめています。

すべての社員に、環境配慮の行動を徹底させるためには、身近な環境を愛し、日常的な活動から行動を起こすことが重要です。このため、大宝グループの全事業所および生産活動において、ISO14001の認証を取得し、一人一人が出来ることから一歩ずつ環境を守り育てる取り組みを開始しています。

環境組織

弊社社長のもと、環境担当取締役を統括責任者として環境管理体制を構築しています。



環境管理活動の取組み

大宝工業（株）は大宝工業社長、および環境管理統括責任者の基に本社・関東・関西・九州の各カンパニーが統合され活動を行っています。

タイロン（株）や大宝浜松（株）、海外事業所も、別サイトとして活動しています。

各事業所毎に環境管理委員会、内部環境監査委員会、専門部会を設置して、環境マネジメントシステムのPDCAを実行し、環境改善に取り組んでいます。

また、TV会議の利用拡大を行い、新型コロナウイルス感染防止対策と合わせて、出張や外出によるCO₂排出量の抑制に取り組んでいます。



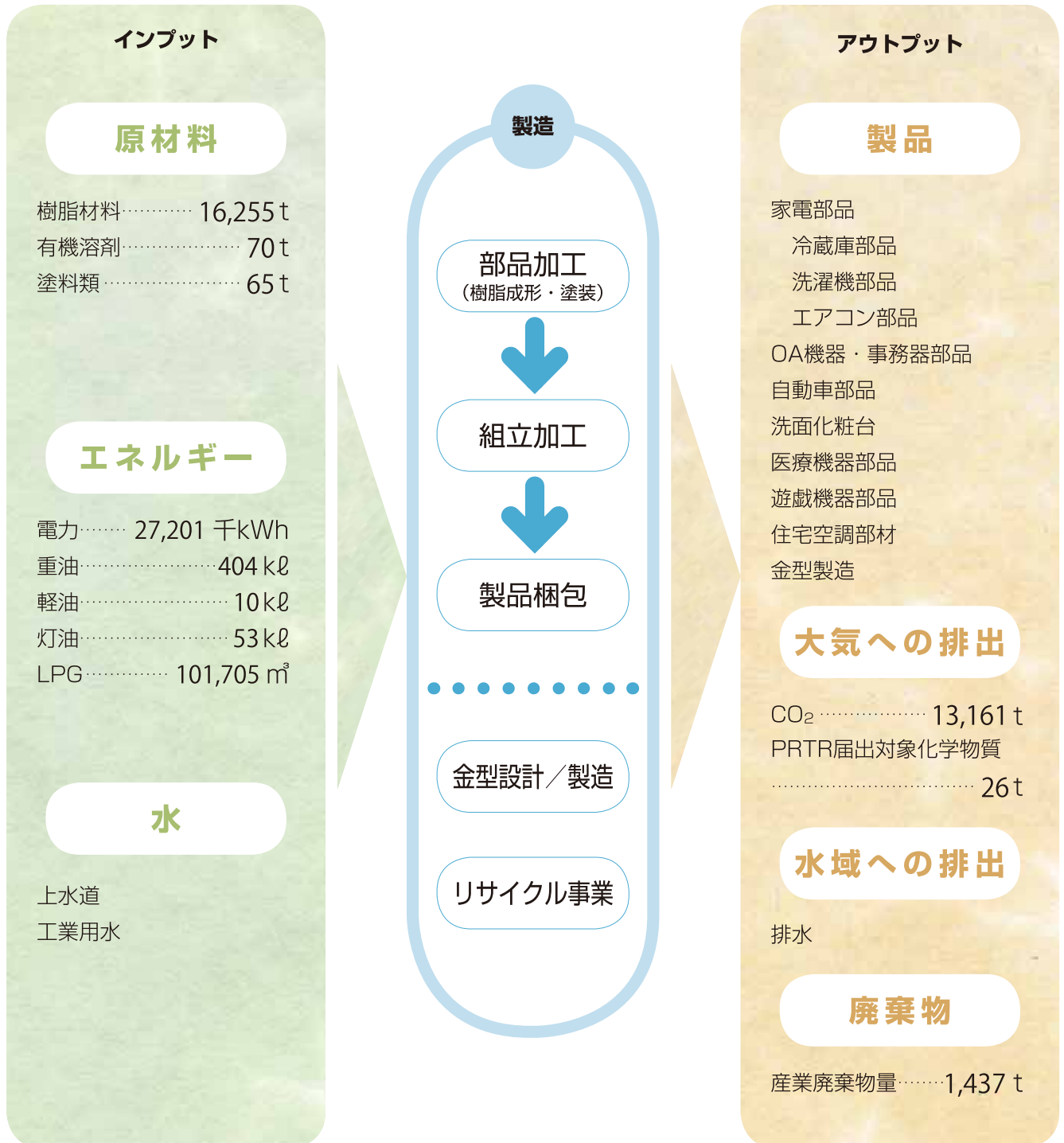
河野工場サーベイランス審査



経営方針発表会(TV会議使用)

環境負荷の全体像

大宝工業では、家電や自動車等の各種部品の生産活動を行っています。弊社では、モノづくりにおける環境負荷を低減するため、省エネルギー、化学物質削減、廃棄物量低減などの取組みを展開しています。



環境活動 計画・実績

ISO14001環境マネジメントシステムに基づいて中期目標を定め、それをもとに年度ごとに達成目標を掲げて環境改善に取り組んでいます。

取組み項目		2020年度活動内容	対前年度実績
環境に優しい物作り (省エネ・省資源)	<ul style="list-style-type: none"> ◇電力使用量の削減 ◇原材料ロスの低減 ◇製品不良率の低減 ◇VOCの削減 	<ul style="list-style-type: none"> ◇電動式成形機の導入。エコカーへの切換え LED照明への切替 ◇各事業所単位の電力使用量と電気料金をグラフ化し、電力削減意識の向上を図っている ◇小集団活動(「0」に挑戦!)の取組み ◇デマンド監視装置の運用 	電力使用量 (総量) 9.8%削減 電力使用量 (原単位) 5.0%削減
地球温暖化防止 (CO2排出量の削減)	<ul style="list-style-type: none"> ◇CO2排出量削減 ◇月次排出量一覧表作成により意識付け ◇環境表彰制度 ◇社内報に環境関連記事を掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ◇2010年度より、各事業所単位のCO2排出量と原単位をグラフにしフィードバック、各社のCO2削減意識の向上を図っている ◇改善事例の水平展開 	CO2排出量 (総量) 8.2%削減 CO2排出量 (原単位) 3.4%削減
廃棄物のリサイクル化 (産業廃棄物の削減)	<ul style="list-style-type: none"> ◇廃棄物の有価物化 ◇リサイクル 	<ul style="list-style-type: none"> ◇原材料、副資材のリサイクルや有価物化の推進 	同等

環境関連法規制の遵守

環境に関する重要な法律の施行、改正を監視し、常に法律や関係する団体から求められる規制を守り、違反の無いよう定期点検を行っています。また、大気汚染、騒音・振動にかかわる規制項目については、各事業所ごとに認定機関による測定を行い、基準値内であることを確認しています。

管理項目	2018年度実績	2019年度実績	2020年度実績
省エネ法	企業単位で届出	企業単位で届出	企業単位で届出
地球温暖化法	企業単位で対応	企業単位で対応	企業単位で対応
廃棄物	適正処理	適正処理	適正処理
PRTR法化学物質	適正管理	適正管理	適正管理
自動車NOx・PM法	入替実施	入替実施	入替実施
大気汚染	基準値以下	基準値以下	基準値以下
水質汚濁	基準値以下	基準値以下	基準値以下
騒音・振動	基準値以下	基準値以下	基準値以下

※環境に関する重大事故、苦情はありませんでした。

改善取組みの事例紹介

エコ改善内容 1

関東カンパニー足利工場のエアークOMPRESSORを更新しました。これにより、使用電力量、電力料金共に約38%削減する事ができました。

(各数値は稼働状況等により変化するため、理論値による計算結果です。)



更新前

年間電力使用量
233,020kWh

年間電力料金
3,728,320円



更新後

年間電力使用量
144,018kWh

年間電力料金
2,304,288円

効果

電力使用量
89,002kWh
節減

電力料金
1,424,032円
節減

エコ改善内容 2

九州カンパニー大牟田工場の組立作業台の蛍光灯30本をLED15本に交換しました。

これにより、使用電力量、電力料金共に約60%削減する事ができました。

(各数値は稼働状況等により変化するため、理論値による計算結果です。)



交換前

年間電力使用量
2,160kWh

年間電力料金
26,000円



交換後

年間電力使用量
861kWh

年間電力料金
10,000円

効果

電力使用量
1,299kWh
節減

電力料金
16,000円
節減

製品を通して環境貢献

環境への負荷軽減に貢献する製品の研究・開発・展開を推し進めています。

紙成形品 [PIM パルプ射出成形品]

大宝グループは1995年に、プラスチックにかわる成形材料の開発に着手し、長年培ってきたプラスチック成形加工技術との融合を目指してきました。パルプ射出成形は、主成分にパルプと澱粉を用いた成形材料を射出成形して、3次元立体構造物を実現する新技術です。



紙製フラットファイル用綴じ具

鳥取県認定グリーン商品に認定された紙製フラットファイルの綴じ具として採用されています。

再生樹脂 [エコ リサイクルシステム]



廃家電から取出したPP(ポリプロピレン)樹脂を回収し、金属除去、異物除去工程後、当社オリジナルの洗浄設備と洗浄液(天然素材)で食品衛生法の基準をクリアーできる再生樹脂を生産しております。

社会、地域への貢献活動

大宝グループでは、素晴らしい社風作りと地球環境問題を経営課題と捉え、1999年に「大宝環境憲章」を制定しスタートしました。「環境に思いやる心」を持つを合言葉に、全社員が環境憲章をよく理解し、納得し、そして具体的な行動の出来る集団づくりを実践しています。

会社周辺の清掃活動

大宝グループ各社では、環境活動の一環として、定期的に工場周辺の清掃活動に取り組み、周辺地域の美化を推進しています。

